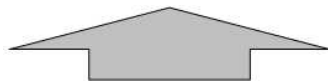


施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090609-03-00
基本事業：	05	読書環境の整備	担当部	教育部
基本事業の成果指標	図書の一人当たりの貸出冊数 図書館の設備・資料の満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	文化振興・図書館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民及びすべての来館者		市民図書館は、平成2年11月に閉館し、市民が身近な生涯学習の場として、図書資料や情報等の提供を行っている。さらに、ブックスタートや講座、講演会等を行うとともに、遠隔地39ヶ所に移動図書館車（つくしんぼ号）を運行し、市民一人ひとりが読書の楽しさや必要性を知っていただくよう努めている。 ・開館時間 午前10時～午後6時（ただし、金曜日、土曜日は午後8時まで） ・休館日 月曜（祝日を除く）、月末最終水曜日、特別整理期間、12月28日から翌年1月4日 ・主催講座等 8回 ・運営方法 運営の一部を民間事業者に委託し運営している。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
読書に親しみ、広く本の世界に触れることで、情操をたくくみ、知識や思考力を育成する（乳幼児から青少年） 社会生活上に必要な情報を得ることと調査研究に資する（全ての世代） 娯楽、教養、レクリエーションに資する（全ての世代）						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
貸出総冊数	冊	713,989	724,598	714,000	725,000			
新規の登録者数	人	2,435	2,469	2,500	2,500			
5. コスト								
事業費	計	千円	77,165	78,279	79,942	99,307		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	141	141	142	10,145		
一般	千円	77,024	78,138	79,800	89,162			
正職員人工数	人工	1	1	1				
正職員人件費	千円	7,996	8,089	8,065				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	85,161	86,368	88,007	99,307			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	子どもの読書離れ、活字離れが本市においても現れていると考えられるが、全国的な傾向であり、国においても文字・活字文化法や子どもの読書活動の推進に関する法律を制定し、読書力の向上に努めていることから、本市においてもより積極的な事業を検討する必要がある。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）

改善方向性 維持 見直し 廃止 事業終了

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）

移動図書館車が老朽化しているため更新が必要	
-----------------------	--

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）

昭和62年まちづくりプロジェクトが市長に対し提言書「筑紫野市立図書館建設について」を提出。平成2年11月中央公民館図書室を閉鎖し、現在の図書館を開館した。開館時間は火～日、10時から18時（金、土は20時）貸出型の館である。滞在型への要望があるが、構造上変更は難しい。	備考・特記事項 or 進行管理欄
--	------------------